

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Vazo™ 52G

SDS 整理番号 : 130000030497

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : ケマーズ株式会社

住所 : 東京都港区虎ノ門 4-1-17 神谷町プライムプレイス 日本

電話番号 : 050-3823-0500

緊急連絡電話番号 : 0120 081167

担当部署 : プロダクトステewardシップ&レギュラトリー

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 中間体

使用上の制限 : 工業用のみ。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

自己反応性化学品 : タイプ D

皮膚感作性 : 細区分 1A

水生環境有害性 短期（急性） : 区分 2

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H242 熱すると火災のおそれ。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き : **安全対策:**
P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P234 他の容器に移し替えないこと。
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391 漏出物を回収すること。

保管:
P403 換気の良い場所で保管すること。
P411 10℃以下の温度で保管すること。
P420 隔離して保管すること。

廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非常事態の概要 : 密閉して加熱すると爆発のおそれ。
粉じんが眼に入ると、機械的な刺激が起きることがある。
粉じんと接触により、皮膚の物理的な刺激または乾燥がおきる可能性がある。
爆発性の粉じん混合気を形成することがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学名又は一般名 : 2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル)

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

CAS 番号 : 4419-11-8

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル)	4419-11-8	>= 90 - <= 100	2-1532, 2-161

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者 の 診察を受ける。
症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。
- 吸入した場合 : 吸い込んだ場合、新鮮な空気 の 場所へ移動する。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 接触した場合、直ちに皮膚を石けんと多量の水で洗い流す。
汚染した衣服および靴を脱ぐ。
医療処置を受ける。
再使用前に衣服を洗う。
靴を再使用する前に完全に洗う。
- 眼に入った場合 : 目に入った場合には、水でよくすすぐ。
刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。
症状が現れる場合には医療機関で診察を受ける。
水で口をよくすすぐ。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚接触により次の症状が起こることがある :
不快感
掻痒
発赤
細胞肥大
目に入った場合、次のような症状を引き起こすことがある。
刺激性
涙目
発赤
不快感
摂取により次の症状が起こることがある :
胃腸不全
粉じんと の 接触により、皮膚の物理的な刺激または乾燥がおきる可能性がある。
粉じんが眼に入ると、機械的な刺激が起きることがある。

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

応急措置をする者の保護 : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目 8 の適切な個人保護具を参照のこと（項目 8 を参照）。

医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の危険有害性 : 粉じんの生成を避ける。空気中に十分な量の微細粉じんが分散しており着火源が存在すると粉じん爆発の危険がある。
棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。
製品は激しく燃焼する。
燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。

有害燃焼副産物 : 窒素酸化物 (NO_x)
炭素酸化物

特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 付近の発火源となるものを取り除く。
保護具を使用する。
安全な取り扱いのアドバイス（項目 7 を参照）や、個人保護具の推奨事項に準拠（項目 8 を参照）。

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 流出物は直ちに除去する。
可燃物と混合を回避するために予防策をとること。
不活性な吸収材で吸収させる。
器具を使って（例えば清潔なプラスチックコップで）丁寧に放入ること
粉じんの空気中への飛散を避ける（すなわち、粉じんの蓄積した表面の圧搾空気による清掃）。
粉じんが空気中に十分な濃度で放出されると爆発性の混合物を形成するので、表面に粉じんを蓄積させてはならない。
廃棄物は分離し、再利用しない。
本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。
本 SDS の項目 13 および 15 において、地方自治体および国の法規制の記載あり。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 静電気が蓄積し、浮遊ダストに引火し爆発を引き起こすことがある。
電氣的な接地、連結、または不活性雰囲気などの適切な予防措置を講ずる。

局所排気、全体換気 : 適切な換気装置の下でのみ使用する。
局所ばく露の可能性の評価により低減があった場合、防爆排気装置を備えた場所でのみ使用してください。

安全取扱注意事項 : 分解生成物を吸い込まないでください。

皮膚や衣服に付けない。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気もしくはスプレーの吸入を避けること。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
職場曝露調査の結果に基づき、産業性の衛生および安全性の実行規定に従い取り扱うこと
防爆用工具を使用しなければならない。
圧力上昇を避けること
コンタミを避ける。

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

粉じんの生成と蓄積を極力避ける。
使用しない場合には容器を閉めておく。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
静電気放電に対して予防処置手段をとること。
他の容器に移し替えないこと。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。

接触回避 : 酸化剤
汚染（例えば錆、埃、灰）を避けること。腐食する危険がある。
引火性物質

衛生対策 : 通常の使用中に化学物質へのばく露の可能性がある場合は、作業場所の近くにアイフラッシングシステムおよび安全シャワーを設置してください。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

保管

安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
乾燥した、涼しい、換気のよい場所で保管する。
日光から遮断すること。
推奨する保管温度に従って保管する。
各国の規定に従って保管する。
熱や発火源から遠ざける。

納品時の容器でのみ保管する。

混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない :
酸化性固体
自然発火性物質及び禁水性物質
酸化性液体

推奨された保管温度 : < 10 °C

安全な容器包装材料 : 適さない材質: 知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置**作業環境における成分別暴露限界/許容濃度**

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

分解生成物の労働衛生上の露出限度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 許容濃度	出典
シアン化水素	74-90-8	ACL	3 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	5 ppm 5.5 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 経皮吸収				
		C	4.7 ppm (シアン化物)	ACGIH
一酸化炭素	630-08-0	OEL-M	50 ppm 57 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
詳細情報: 第 1 群: ヒトに対して生殖毒性を示すことが知られている物質				
		TWA	25 ppm	ACGIH
二酸化炭素	124-38-9	OEL-M	5,000 ppm 9,000 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	5,000 ppm	ACGIH
		STEL	30,000 ppm	ACGIH

設備対策 : 処理により危険有害化合物が発生することがある (項目 10 を参照)。
特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。
粉じん爆発を防ぐ措置を講ずる。
粉じん取り扱いシステム (排気ダクト、粉じん捕集装置、粉じん容器、および粉じん処理装置など) では、粉じんが作業場へ漏れ出さない (すなわち装置からの漏れがない) ような設計を確実に行う。
局所ばく露の可能性の評価により低減があった場合、防爆排気装置を備えた場所でのみ使用してください。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置が利用できない場合、またはばく露評価で推奨ガイドラインの範囲外のばく露が示された場合は、呼吸保護器具を使用しましょう。

フィルタータイプ : 自給式呼吸器

手の保護具

材質 : 耐薬品性手袋

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

備考 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。この製品が手袋を透過する時間は分かっていない。手袋を頻繁に取り替える。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。

眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する :
安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
次の個人保護具を着用する :
爆発性雰囲気または引火の危険性があることが評価で示された場合は、難燃性帯電防止保護服を使用してください。
不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用することで皮膚への接触を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

色 : 白色

臭い : 無臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点／凝固点 : $> 50^{\circ}\text{C}$
融点確認を試みてはいけない。激しく分解することがある。

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性（固体、気体） : 爆発性の粉じん混合気を形成することがある。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : $0.03\%(\text{V})$
値

引火点 : 非該当

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

分解温度	:	製品は自己反応性物質または混合物タイプ D に分類。
pH	:	7
蒸発速度	:	0 (酢酸ブチル =1.0)
かさ密度	:	400 kg/m ³
自然発火温度	:	225 ° C
自己促進分解温度 (SADT)	:	25 ° C
粘度	:	
動粘度 (動粘性率)	:	非該当
溶解度	:	
水溶性	:	>= 0.00937 g/l (20 ° C)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	:	log Pow: 3.319 (20 ° C)
蒸気圧	:	非該当
密度及び／又は相対密度 比重	:	0.969
相対ガス密度	:	非該当
爆発特性	:	爆発性なし
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒子特性	:	
粒子サイズ	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	熱すると火災のおそれ。
化学的安定性	:	注意事項に従い、非適合性材料や条件を回避すること
危険有害反応可能性	:	爆発性の粉じん混合気を形成することがある。 酸化物質が反応を起こす可能性がある。

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

高温で有害な分解生成物が生成される。
閉じ込めると爆破することがある。

避けるべき条件 :

- 熱、炎、火花。
- コンタミを避ける。
- 粉じんの発生を避ける。
- 推奨保管温度より高い温度。
- 不適合な物質との接触は、SADT またはそれ以下の温度での分解の原因となりうる。

混触危険物質 :

- 酸化剤
- 汚染（例えば錆、埃、灰）を避けること。腐食する危険がある。
- 引火性物質

危険有害な分解生成物

熱分解 :

- シアン化水素
- 窒素
- 一酸化炭素
- 二酸化炭素

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 :

- 吸入
- 皮膚接触
- 摂取
- 眼に入った場合

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :

急性毒性 (経口) :

- LD50 (マウス): > 6,000 mg/kg
- 方法: 専門家の判断

急性毒性 (吸入) :

- 概略致死濃度 (ラット): 9.3 mg/l
- 曝露時間: 4 h
- 試験環境: 粉じん/ミスト
- 方法: OECD 試験ガイドライン 403
- アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

皮膚腐食性／刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :**

種	: 組織培養
方法	: OECD 試験ガイドライン 439
結果	: 皮膚刺激なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :**

種	: ウシ角膜
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 437
種	: 動物試験は実施されなかった。
結果	: 眼への刺激なし
方法	: OECD 試験ガイドライン 492

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

アセスメント	: 人間の皮膚に高率の過敏性が発現する可能性または証拠がある。
--------	---------------------------------

成分:**2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :**

試験タイプ	: ペプチド結合性試験 (DPRA)
暴露の主経路	: 皮膚接触
種	: 動物試験は実施されなかった。
方法	: OECD 試験ガイドライン 442C
結果	: 陽性

試験タイプ	: 角化細胞感知アッセイ
暴露の主経路	: 皮膚接触

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

種 : 組織培養
方法 : OECD 試験ガイドライン 442D
結果 : 陽性

アセスメント : 人間の皮膚に高率の過敏性が発現する可能性または証拠がある。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :**

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物を用いる復帰突然変異試験 (AMES)
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 小核試験
方法: OECD 試験ガイドライン 487
結果: 陰性

生殖細胞変異原性 - アセスメント : 根拠が薄く生殖細胞突然変異源として分類することはできない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :**

妊娠に対する影響 : 試験タイプ: 生殖/発生毒性スクリーニング試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ: 生殖/発生毒性スクリーニング試験
種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 422
結果: 陰性

生殖毒性 - アセスメント : 証拠の重要性からすると、生殖毒性性物質として分類されない

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス（2, 4 -ジメチルバレロニトリル）:**

暴露の主経路	: 飲み込んだ場合
アセスメント	: 濃度範囲 100 mg/kg bw 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

反復投与毒性**成分:****2, 2' -アゾビス（2, 4 -ジメチルバレロニトリル）:**

種	: ラット, オスおよびメス
NOAEL	: 250 mg/kg
LOAEL	: > 250 mg/kg
投与経路	: 飲み込んだ場合
曝露時間	: 8 週
方法	: OECD 試験ガイドライン 422

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:**2, 2' -アゾビス（2, 4 -ジメチルバレロニトリル）:**

吸引性呼吸器有害性には分類されていない

12. 環境影響情報**生態毒性****成分:****2, 2' -アゾビス（2, 4 -ジメチルバレロニトリル）:**

魚毒性	: LC50 (Danio rerio (ゼブラフィッシュ)): 2.11 mg/l
	曝露時間: 96 h
	方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 1.17 mg/l

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

に対する毒性

曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 1.48 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

最大無影響濃度 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 1.19 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

残留性・分解性

成分:

2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :
生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

生体蓄積性

成分:

2, 2' -アゾビス (2, 4 -ジメチルバレロニトリル) :
n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 3.319 (25 ° C)
(log 値)

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 地方自治体の規制に従い処分する。
廃棄物を下水へ排出してはならない。

汚染容器及び包装 : 空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認可を受けた
廃棄物処理業者に委託する。
特に指定が無い場合、未使用品として廃棄する。

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3236
国連輸送名 (Proper shipping name)	: SELF-REACTIVE SOLID TYPE D, TEMPERATURE CONTROLLED (2, 2'-AZODI (2, 4-DIMETHYL-VALERONITRILE))
国連分類 (Class)	: 4.1
容器等級 (Packing group)	: 規制による割り当て無し
ラベル (Labels)	: 4.1
環境有害性	: 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

輸送は許可されていない

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3236
国連輸送名 (Proper shipping name)	: SELF-REACTIVE SOLID TYPE D, TEMPERATURE CONTROLLED (2, 2'-AZODI (2, 4-DIMETHYLVALERONITRILE)) (2, 2'-Azodi [2, 4-Dimethylvaleronitrile])
国連分類 (Class)	: 4.1
容器等級 (Packing group)	: 規制による割り当て無し
ラベル (Labels)	: 4.1
EmS コード (EmS Code)	: F-F, S-K
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 150

15. 適用法令

関連法規

消防法

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

第五類, アゾ化合物, 第二種自己反応性物質, (100 キログラム), 危険等級 II

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

化学物質排出把握管理促進法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 可燃性物質類

航空法

積載禁止

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

特定麻薬向精神薬原料 (輸出・輸入許可)

非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

16. その他の情報

その他の情報 : Vazo™ および関連のあるロゴは、The Chemours Company FC, LLC の著作権または商標です。
Chemours™ および Chemours Logo は The Chemours Company の商標です。
ご使用の前に、ケマーズ社の安全情報をお読み下さい。
更に詳しい情報が必要な場合は、各地のケマーズ支社または指定代理店にお問い合わせください。

詳細情報

引用文献 : 自社技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 <http://echa.europa.eu/> の検索結果

日付フォーマット : 年/月/日

Vazo™ 52G

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/10/16
14.1	2025/05/07	1331754-00048	初回作成日: 2017/02/27

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I. 化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
ACGIH / C : 天井値
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50% 致死濃度; LD50 - 50% 致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性 (物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q) SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法 (米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート (以下「SDS」という) で提供する情報 (以下「本情報」という) は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDS の頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせ、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA